

## 第8回 情報システム学会・情報社会の成育モデル研究会 報告

日時：2017年5月14日 14:00-17:00

場所：横浜国立大学みなとみらいキャンパス

ランドマークタワー18階 1809室

住所：横浜市西区みなとみらい 2-2-1

<http://tkp-yokohama-landmark.net/>

参加者：神沼、小久保、田名部、原

一般参加者：溝口、鈴木

配布資料：ディスカッションペーパー（原）－ 研究会資料置き場にアップ

議題：

### 1 報告と確認

- ・本研究会の今年度への継続の承認を得たことを報告した。
- ・今年度の研究会の活動支援費を受けることとした。
- ・本年度末には活動成果を論文としてまとめることを目指すこととした。

### 2 議論

配布資料に基づき、今後の議論の枠組みを議論した。

- ◇ 情報システムの創発に関連する機能システムとして、情報社会、情報システム、情報技術、情報を想定する案が提示された。

各機能システムの媒介関係には以下の形態が想定される。

- ・情報 - 情報技術 - 情報社会
- ・情報技術 - 情報システム - 情報社会
- ・情報 - 情報システム - 情報社会
- ・情報 - 情報技術 - 情報システム - 情報社会

ひとと社会を媒介するものとして情報技術を見た場合、情報技術により創発された社会機能が構成する情報社会が現れる。

多様多種の情報技術は複雑な関連で連携し、情報システムを創り出す。そのような情報システムが新たな情報社会の創出を実現する。

- ◇ 各機能システムを特徴づける主題として、以下を考える案が提示された。

ビッグデータ、AI、データ分析技術、IoT、安心/安全、持続性、など

◇ システムとして情報社会を見る場合、主要な構造的特性には以下があるという考えが提示された。

- ・システムの構成要素の関連が構成する構造
- ・システムの階層構造

☆ システムは境界を持ちその外側を環境と呼ぶ。“ひと”は、環境にある場合とシステム内にある場合が考えられる。“ひと”をシステムの構成要素に入れる場合、構成要素としての“ひと”の定義を定める必要がある。

☆ システムの階層の上位をシステム・オブ・システムとしているが、この考え方は有効でないという意見が出た。

◇ 情報社会の成育モデルのデザインに関して議論した。

社会における現象から（社会的）価値を導き出し、モデル化する案が示された。

☆ EA のアーキテクチャフレームワークなどが参考として提示された。

☆ 情報社会に対する異見は様々あり、統一した情報社会モデルを構築するのではなく、様々な社会モデルの評価モデルにすべきであるという意見が出された、

次回以降、成育モデルに焦点を当ててさらに議論をしていく。

### 3 今後の予定

以下を仮置きしておく。

第 9 回 7 月 22 日（土） 13:00-16:00

第 10 回 9 月 16 日（土） 13:00-16:00

第 11 回 11 月 23 日（木） 13:00-16:00

第 12 回 1 月 ?日

第 13 回 3 月 ?日

#### 次回予定

第 9 回成育モデル研究会

日時：2017 年 7 月 22 日（土） 13:00－16:00

場所：横浜ランドマークタワー25F

TKP ワークショップルーム（ルーム番号は受付案内板で確認のこと）

住所：横浜市西区みなとみらい 2-2-1

<http://tkp-yokohama-landmark.net/>

以上